

京都大学11月祭講演会

# 原発安全神話

## の 話し部たち

マスメディア・大学

講師 日隅一雄さん 荻野晃也さん

11月26日(土)13:30~16:30

京都大学吉田南構内吉田南総合館西館共西42

入場料 一般600円 学生300円

主催 アジェンダ・プロジェクト京都、京都大学ピースナビ

メディア・大学と原発は密接な関係にある。

電力会社の広告費は新聞・雑誌・ラジオ・テレビに潤沢に流れ込み、各メデイ

アは電力会社に批判的な記事や報道を流すことが困難な状況におかれてきた。大学にも電力会社から金流れ込み、東電の寄附講座が設けられていた東大を中心に、多くの御用学者が生み出された。

政・官・学・財が一体となった原発推進体制のうち、メディア・大学は市民の洗脳という大きな役割を担ってきたのである。事故直後の御用学者の多用や、放射能の危険性を軽視する報道や電力会社の意向を受けた節電キャンペーンなど依然として電力会社の影響力は強い。

本講演会は、事故後の東電の記者会見に通いつめ、多くの問題点を指摘し続けているジャーナリストの日隅一雄さんと、大学内で原発の運転に異を唱え続けた元京都大学教員の荻野晃也さんを講師に迎え、原発の運転がいかにメディアと大学によって支えられてきたのかを詳らかにし、今後のあり方を考えていくものにした。

問い合わせ

090-9998-9245